

第2弾・新型インフルエンザ対策について

しばざき しげお
柴崎 重雄

感染防止対策の徹底に努めている。教育委員会では各家庭への情報提供、予防対策の指導などを行っている。

上柴地区の街路灯について

上柴地区はこの春、医療大学が開校し、人口2万人のニュータウンとして発展し、今後、複合施設完成後はさらなる進展が期待される。区画整理事業完了後、20数年たちさまざまなところで老朽化が進み、特に街路灯が目立っている。街路灯の更新・増設などの対応は可能か聞きたい。

3月議会で鳥インフルエンザを質問したが、その直後メキシコで豚インフルエンザが発生し、執拗な水際対策にもかかわらず日本に上陸してしまつた。幸いにも弱毒性であるようだが、深谷市のその後の公共機関・学校などの対策を聞きたい。

WHOの警戒フェーズにより市長を本部長とする深谷市新型インフルエンザ対策本部を設置した。そして、内外の情報収集をし、発熱相談センターや感染防止の周知のためにチラシを毎戸配布、ポスター掲示を行っている。一方、策定委員会において発生段階ごとに応じた行動対策を計画している。また、国のガイドラインに基づき深谷市消防本部新型インフルエンザ業務継続計画を策定し、救急隊員の

感染防止対策の徹底に努めている。教育委員会では各家庭への情報提供、予防対策の指導などを行っている。



街路灯

深谷市住宅耐震化補助制度の周知・PRの強化を

おがわ しんいちろう
小川 真一郎

補助制度の運用の現況について聞きたい。

4月1日より67件の問い合わせがあり、無料簡易耐震診断の申請が12件、専門家による耐震診断の補助申請が2件、耐震化改修新築工事の補助申請が1件ある。

市民の皆様への周知・PRの強化について聞きたい。

市の施設、建築業界団体、商工団体、市内企業等へのポスター・パンフレットの配布や市ホームページにも掲載し周知・PRを図っている。また広報で毎戸配布し周知・PRの一層の強化に努めていく。

施工業者への説明会について聞きたい。

業界団体と協議の上、要望に基づき説明会等を開催していきたい。

アグリ・ハローワークに人材コーナーの設立を

アグリ・ハローワークに農業従事希望者や農繁期の求人等の情報を提供する人材コーナーを設立できないものか聞きたい。

人材コーナーの設置については、職業安定法、労働者派遣法等の許認可が必要であり、関係機関と協議していく。

保育園待機児童について

待機児童の定義に含まれない私的待機児童の対策について聞きたい。

さまざまな理由から、入園可能な保育園への入園を望まず、特定の保育園の入園を希望している私的待機児童は現在137人いるが、増加する保育ニーズに対応するため、積極的に施策を講じていく。

高齢者施設の防災対策について聞きたい

しば しいける
馬場 茂

法令違反の調査などを実施しているのか。また、市内に未届け有料老人ホームはあるのか。

平成19年12月に埼玉県で定められた「未届有料老人ホームの届出促進に係る取扱方針」に基づき、調査が実施された。市内には9施設の届け出が必要とされる有料老人ホームがあるが、届け出の勧奨を実施し、平成21年3月末までに、埼玉県に届け出がされており、現在、市内には未届けの有料老人ホームはない。したがって、届け出に係る法令違反はないと認識している。

防災対策として屋内消火栓の訓練等の実施は？

屋内消火栓設備を設置している施設は、エンゼルの丘1施設で、消防訓練及び点検を年2回以上実施し、その内





ロゴマーク

1回は、消防職員が立ち会いを行っている。

問 「少し贅沢深谷ねぎ」のロゴマークの使用について、以前質問した際に、今後一年を目途として決定していきたいとの答弁であったが、一年経過した現在の状況は？

答 平成20年3月から約半年間にわたり、生産者・出荷団体・小売店と計5回意見交換会を開催。この意見集約の過程では、出荷規格についても議論されたが、農協や市場での出荷規格が統一されていないので、最終的な結論に至っていない。加工食品におけるロゴマーク使用については、深谷市産「深谷ねぎ」の使用割合が100%である場合に限り使用を認めることとした運用基準が定めてある。

市有地の未使用地について

とみた まさる
富田 勝

額11億5618万6325円である。

問 平成18年より平成21年までの3年間で普通財産である未使用地が増えている理由は、

答 土地全体としては変わりはないが行政財産から普通財産に所管替えしたためである。

問 どのような行政財産を移管したのか。

答 道路の残地、また合併により所管がはっきりしなかった土地等である。

問 無駄をなくし経費を削減して財政再建を図っていくとして、深谷市武蔵野の埼玉より病院西にある広大な未使用地を宅地として分譲したらと思うが市の考えは。

答 現在のところ具体的な計画は確定していない。開発許可の条件を調査し今後の利用方法について関係部局と十分に協議をしていく。



未使用地

市内の雨水排水対策について雨期や台風の危険なところとその対応は

いまむら さんじ
今村 三治

問 雨が降るとすぐ水がたまるところ、大水が出るところなどはその地区の人でなければわからないのでその地区の市民に協力を求めて土砂上げなどをお願いしておくべきではないか。ゲリラ雷雨の時、水がたまって危険な戸森地下道のようなところは市内に何カ所あるのか。市民の命にかかわることなので十二分な答弁を求める。

答 集中豪雨時には初期対応が大切なことから、各総合支所と連携を図り一層の安全対策に努める。地下道の危険なところは12カ所、冠水が想定されるところは8カ所である。

問 危険箇所は地区名と番号で管理すべきではないか。いざという時の安全対策はどのようなにしているのか。

答 今後、番号による管理が

できるよう検討していく。安全対策は、危険度に応じて警察と協議のもと検討していく。



戸森地下道

請願・陳情ってなあに？

市議会には、市政について市民の皆さんの要望や意見を請願書・陳情書の形で受理します。議員の紹介のあるものを請願書、紹介のないものを陳情書として区別します。詳しくは、市ホームページの深谷市議会のページをご覧ください。